

「待ったなし！社会保障・税番号制度への対応」セミナー開催

JUAS 及び JISA は共催で 3 月 17 日、東商ホールにおいて首記セミナーを開催した。参加者は約 380 名。

社会保障・税番号制度の開始まで 2 年を切り、JISA 及び JUAS はそれぞれのメンバーに対して同制度への意識を喚起し、対応へ向けた準備に着手するよう促した。



はじめに、山田英二氏（NTTデータ）が『社会保障・税番号制度の概要について』について、次に梅屋真一郎氏（野村総合研究所）が『社会保障・税番号制度への対応について』について講演した。最後は石原睦氏（サッポログループマネジメント）が『IT からみた社会保障・税番号制度対応への取組事例紹介』と題して講演され、今春サッポログループ全体で取組準備に着手し、制度開始時点までにグループ全体で数億円、その後も毎年数千万円のコストがかかるとの見通しを語った。

更に石原氏は政府へお願いしたいこととして、政省令など制度の詳細に関する速やかな情報開示を求めた。一方、業界団体に対しては、安心して使える業界横断の共通サービスを提供して欲しいと要望した。

（尾股）